

フッ素系上塗り剤

絶・耐候性 GF020

優れた耐薬品性で、薬品による腐食を防止
防汚効果で美観を長期間維持

耐薬品性・耐久性に優れたフッ素系上塗り剤です。
薬品による腐食から長期間、躯体や建造物、外壁などを守ります。また、防汚性にも優れ、躯体表面の汚れも防ぎ、美観も長期間維持します。



主剤 4.2kg/硬化剤 0.6kg
(受注生産品のため納品までお時間をいただいております)

色調 調色対応(日塗工色番号で指定/近似色)

用途 ■ 屋外用上塗り
■ 耐薬品・防汚上塗り
■ 薬品による腐食防止
■ 躯体、建造物、外壁などの保護

容量 4.8kgセット(主剤4.2kg/硬化剤0.6kg)

混合比率 主剤:硬化剤 / 7:1(重量比)

塗布面積 約20㎡(240g/㎡ / WET膜厚 200μm / DRY膜厚100μm)
・塗布面積は目安です。被塗物、作業方法などで異なります。

乾燥時間 24時間以上(気温20℃・湿度60%の環境下での目安)

使用方法

【絶・耐候性GF020】は、上塗りです。ご使用前に、当社製品【パワー防錆シリーズ】などを用いて下塗りを完了させてください。

- ① 混合前に、主剤を電動攪拌機などを用いて、粘度が均一になるまで十分に攪拌し、硬化剤は缶を振って攪拌してください。
- ② 主剤と硬化剤を7:1(重量比)の割合で混合し、電動攪拌機などで約2分間、十分に攪拌してください。
 - ・1時間程度で使い切れる量を混合してください。(気温20℃の環境下での目安。夏場などの高温時は30分程度を目安に調整してください。)
 - ・硬化剤混合後は通常、直ちに使用可能ですが、低温時(10℃以下)では、約30分間の熟成時間を設けてからご使用ください。
 - ・作業状況に応じて、主剤・硬化剤の混合重量に対し10%を上限として【APレデュサー】で希釈してご使用ください。
- ③ 刷毛、ローラー、エアレスガンを使用してください。
- ④ 所定の膜厚(WET膜厚200μm)に達するよう、2回塗りで施工してください。
 - ・エッジ・ボルト部などは、あらかじめ刷毛などで先塗りをしてください。
 - ・1回の塗装で隠れいが得られた場合でも、耐候性および耐久性の観点から、必ず2回塗りを実施してください。
 - ・隠れい性が不足する場合は、適宜塗り重ねを行ってください。
- ⑤ 使用後の容器・工具類は【APレデュサー】、またはラッカーシンナーで洗浄してください。

使用上の注意

- 記載している各数値は、全て標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件、仕上がり条件などにより異なる場合があります。必要に応じ所定の膜厚になるように使用量、塗り回数や乾燥時間などを調整してください。
- 低温時や硬化反応中に塗膜表面に結露・湿気が加わると、ブラッシング現象を起こす事があります。
- 直射日光の当たらない冷暗所に保管しお早目に使い切るようにしてください。また、開封後はしっかり蓋をして密封してください。
- 危険有害情報や使用上の注意など詳細については、SDS(安全データシート)を参照してください。

特長 ■ フッ素系塗料
■ 優れた耐薬品性、耐久性、防汚性
■ 躯体、建造物、施設の劣化を防ぐ

■絶・耐候性GF020仕様

工程	塗料・塗布量・塗装方法
1. 素地調整	使用する下塗り剤に応じて 適宜処理を行ってください。
2. 下塗り	
3. 乾燥	
4. 上塗り	絶・耐候性 GF020 塗布 塗布量は 240g/㎡ (刷毛・ローラー・エアレスガン)

※仕様は一例です。
被塗物の形状、素地状態、気象条件、施工条件などにより異なる場合があります。

■性状

項目	性状
容器内の性状	主剤：各色粘ちよう液
	硬化剤：無色粘ちよう液
主剤・硬化剤混合比	主剤：硬化剤＝7：1(重量比)
設計膜厚	WET:200μm / DRY:100μm
塗布量	240 g/㎡
作業性	刷毛・ローラー・エアレスガン
ポットライフ	3～5時間(気温20℃の環境下)
塗り重ね可能時間	1時間～7日間(気温20℃の環境下)
乾燥時間	24時間(気温20℃の環境下)
貯蔵安定性	12ヶ月間異常なし(気温20℃の環境下)

※記載している各数値は、全て標準のものです。
被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件、仕上がり条件などにより異なる場合があります。
必要に応じ所定の膜厚になるように使用量、塗り回数や乾燥時間などを調整してください。

■塗膜性能試験データ

項目	結果	試験内容
付着性強さ	7.1[N/mm ²]	建研式直接引張試験
引っかかり硬度試験	H	JIS K 5600-5-4 塗料の一般試験 第5部 塗膜の機械的性質 第4節 引っかかり硬度
促進耐候	光沢保持率 80%以上	JIS K 5600-7-7 促進耐候性試験 第7部 塗膜の長期耐久性 キセノンランプ法 4000時間(20年相当)
耐衝撃性	衝撃による変形で 割れ、剥がれを認めない	JIS K 5600-5-3 塗料の一般試験 第5部 塗膜の機械的性質 第3節 おもり落下性 6.Dupon式 500g 50cm
耐揮発油性	塗膜に膨れ、割れ 剥がれない	JIS K 5600-6-1 塗料の一般試験 第6部 塗膜の化学的性質 第2節 耐液体性 試験用揮発油 1号及び2号にそれぞれ24時間浸漬
耐液体性試験 (酸性)	塗膜に膨れ、割れ 剥がれない	JIS K 5600-6-1 塗料の一般試験 第6部 塗膜の化学的性質 第2節 耐液体性 60%硫酸溶液 室温 24時間浸漬
耐液体性試験 (中性)	塗膜に膨れ、割れ 剥がれない	JIS K 5600-6-1 塗料の一般試験 第6部 塗膜の化学的性質 第2節 耐液体性 3%塩化ナトリウム溶液 240時間浸漬
耐液体性試験 (アルカリ性)	塗膜に膨れ、割れ 剥がれない	JIS K 5600-6-1 塗料の一般試験 第6部 塗膜の化学的性質 第2節 耐液体性 10%水酸化ナトリウム溶液 240時間浸漬
耐屈曲性	異常なし	JIS K 5600-5-1 塗料の一般試験 第5部 塗膜の機械的性質 第1節 耐屈曲性 円筒形マンドレル法 10mm
冷熱サイクル試験	異常なし	JIS K 5600-8 塗料の一般試験 第8部 塗膜劣化の評価 -40℃ 3時間 → 80℃ 3時間 100サイクル

※本資料に記載の試験データは、当社による特定条件下での測定結果です。
実際の使用環境により数値は変動することがあります。なお、これらの数値は規格値ではありません。

□掲載している内容の一部及びすべてについて、無断で転写、転用、編集、改変、販売などの二次利用を固く禁じます。
□掲載している内容は、予告なく変更する場合があります。

【開発・製造元】

ヒトの生命を守り — あらゆるモノの再生・延命・強靱化も

株式会社 染めQテクノロジー

〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971番地31
TEL:0280・80・0005(代) FAX:0280・80・0006(代)
https://somayq.com/

【販売元】